



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 ショクブン

上場取引所 東名

コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 公

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 田野 光夫

TEL 052-773-1011

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,068	△3.9	109	17.8	31	52.6	123	—
25年3月期第3四半期	7,352	△8.9	93	△59.1	20	△87.0	△9	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 105百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △5百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	10.40	—
25年3月期第3四半期	△0.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,511	3,523	33.5
25年3月期	10,579	3,502	33.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,523百万円 25年3月期 3,502百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,652	0.5	228	128.2	121	—	174	—	14.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 — 社 （社名）  
 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	11,856,669 株	25年3月期	11,856,669 株
26年3月期3Q	5,292 株	25年3月期	2,995 株
26年3月期3Q	11,852,160 株	25年3月期3Q	11,855,059 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、金融・経済政策などを背景に円安・株高が進み、景気回復の兆しが現れてまいりました。一方で個人消費の上昇に対する期待感が増しているものの、依然として円安に伴う原材料価格の高騰、雇用・所得環境の低迷等、先行きに対する不透明感があります。当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況下で推移いたしました。一方で、食生活に対する消費動向は、家庭内で喫食する方向へと動く傾向が出てまいりました。

このような中、当社はメニュー内容の充実を図るとともにお試し半額キャンペーンによる新規顧客開拓やサービスポイントを利用した既存顧客の継続利用に取り組んでまいりました。

結果、売上面では、主力のメニュー商品売上高は64億53百万円（前年同四半期比96.1%）になり、特売商品売上高は6億15百万円（前年同四半期比96.5%）になりました。

一方、夏の猛暑、原油高による生産コストの上昇など、生鮮野菜等の仕入価格の高騰に見舞われましたが、生産体制、販売体制を見直し効率的な生産、販売活動を実現し、コスト削減を図ったことで、売上原価率は59.2%になり、販売費及び一般管理費は前年同四半期に比べ1億83百万円減少いたしました。

さらに、経営資源の効率的な活用並びに財務体質の改善を図るため、東京支社の土地の一部を売却し1億97百万円の固定資産売却益を計上しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は70億68百万円（前年同四半期比96.1%）、経常利益は31百万円（前年同四半期比152.6%）になり、四半期純利益は1億23百万円（前年同四半期は9百万円の四半期純損失）になりました。

さて、社会は大きく変化しようとしています。小社も変化をしなければなりません。当社グループは今年で36年を経て、37年へと歴史を歩むことになりました。業績はここ数年、売上、利益ともに右下り傾向です。ここで歯止めをかけ、大きく右回りになるように最善を尽くさなければなりません。従って、本年を「変革」の年と位置付け、そのために諸費用もかけ、将来投資を行う必要があります。コーポレート・アイデンティティ活動（以下「C・I」という。）を進め、全社員の意識改革を図るとともに従前のシステム改善や新たなサービスの提供を積極的に実施してまいり所存です。

また、新規事業として介護事業者様に対して介護食の販売と献立のご提案、並びに介護食の調理、給食業務の受託をする等、第二の柱として法人様向けに、事業展開をしてまいります。

本年はお客様にとって、使い勝手が良く、安心してご利用して頂ける成長企業に変革をしなければなりません。

以下その概要についてご報告申し上げます。

1. 新セットボックス（通い函）の採用

本年1月6日から、使用するセットボックスをペーパージュ系の食品包材に合った清潔な色調の通い函に全面リニューアルいたしました。安全・安心な材質を使用し、強度と気密性を高めることにより、食材の品質保持に努めます。

2. 数量割引制度の新設

本年3月10日週のメニューから1週間分のお申込みで、5セットの場合は3%、6セット以上お買い上げの場合では5%の特別割引をする新制度です。この新システムは、注文内容の増加と継続率の向上を目的にしております。

3. お買い物代行サービスの開始

本年4月1日からシヨクブンご利用のお客様に対して、調味料、パン、お米等生活必需品のうちベスト50品目を低価格で購入できる新サービスを開始いたします。このシステムはお客様に対するサービスの向上と顧客の固定化に寄与するものと考えています。

4. 介護食の販売と調理・給食業務の施行

新規事業として、介護食メニューの開発と食材の研究をしてまいりましたが、そのノウハウは順調に形成されてまいりました。この実施に当たり、施設様からの評判は良く、契約先数は順次増加をいたしました。

また、事業者様から、調理・給食業務施行の要望もあって、昨年11月に、介護食運営株式会社（100%出資、資本金50百万円）を設立しました。今後、調理・給食業務の受託もしてまいり計画です。

5. 消費税の外税表示

従来、消費税は内税の総額表示をしていましたが、本年3月31日から外税表示と総額表示の両方を併記する方式に変更します。

6. C・Iの実施を進め、シヨクブンの変革を期します。

以上のように、もはや、シヨクブンは夕食セット、夕食産業という限られた分野から総合食品産業へと脱皮しており、企業概念を○新鮮食材の宅配と献立、○介護食のシヨクブン等に表現を変え、また社内の行動基準も能動的に活躍できるように、C・Iを実施し、上述のように具体的な経営活動を進めてまいります。

以上、事業方針について概要を申し述べましたが、今年は午年です。更に進化のできるように、変化を求め全員で頑張っております。

以上

(2) 財政状態に関する説明

資産の部では、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が2億円増加しましたが、土地が2億71百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ68百万円減少の105億11百万円になりました。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が1億90百万円増加しましたが、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が2億38百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ89百万円減少の69億87百万円になりました。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が40百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ21百万円増加の35億23百万円になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想については、平成25年10月31日に公表しました予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社に該当しませんが、当第3四半期連結会計期間より、新たに設立した介護食運営株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,779,801	1,979,835
受取手形及び売掛金	16,181	26,084
原材料及び貯蔵品	103,240	105,898
繰延税金資産	52,246	36,476
その他	40,109	41,866
貸倒引当金	△122	△122
流動資産合計	1,991,456	2,190,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,428,675	1,373,744
土地	5,933,295	5,662,015
その他（純額）	215,477	222,786
有形固定資産合計	7,577,447	7,258,546
無形固定資産		
投資その他の資産	61,293	62,749
投資有価証券	438,042	408,295
繰延税金資産	19,936	3,201
その他	491,394	588,313
投資その他の資産合計	949,373	999,810
固定資産合計	8,588,114	8,321,106
資産合計	10,579,571	10,511,145
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	359,706	550,571
短期借入金	760,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,202,696	1,227,909
未払法人税等	26,660	25,602
賞与引当金	31,000	13,230
その他	495,688	503,299
流動負債合計	2,875,750	3,070,612
固定負債		
社債	125,000	97,000
長期借入金	3,903,332	3,639,481
繰延税金負債	—	24,372
退職給付引当金	35,258	14,944
資産除去債務	23,188	23,554
その他	114,321	117,277
固定負債合計	4,201,100	3,916,629
負債合計	7,076,850	6,987,241

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,488,147	1,488,147
利益剰余金	780,037	820,362
自己株式	△1,455	△2,536
株主資本合計	3,414,739	3,453,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,981	69,921
その他の包括利益累計額合計	87,981	69,921
純資産合計	3,502,721	3,523,904
負債純資産合計	10,579,571	10,511,145

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）
売上高	7,352,262	7,068,838
売上原価	4,298,313	4,181,533
売上総利益	3,053,948	2,887,305
販売費及び一般管理費	2,960,621	2,777,362
営業利益	93,326	109,942
営業外収益		
受取利息	6,257	5,052
受取配当金	6,480	7,237
受取手数料	2,573	1,872
受取賃貸料	4,228	4,173
その他	1,719	2,929
営業外収益合計	21,257	21,265
営業外費用		
支払利息	86,135	85,448
投資有価証券運用損	4,436	—
その他	3,385	14,281
営業外費用合計	93,956	99,729
経常利益	20,627	31,478
特別利益		
固定資産売却益	—	197,867
特別利益合計	—	197,867
税金等調整前四半期純利益	20,627	229,346
法人税、住民税及び事業税	37,623	39,339
法人税等調整額	△7,347	66,712
法人税等合計	30,275	106,052
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△9,647	123,293
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△9,647	123,293

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△9,647	123,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,674	△18,060
その他の包括利益合計	3,674	△18,060
四半期包括利益	△5,972	105,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,972	105,233

- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。